

<臨床研究に関する情報公開（一般向け）>

1)研究課題名

肺がん患者における血漿、血球細胞及び腫瘍組織の遺伝子変異頻度の比較

2)研究の目的と意義

近年、分子生物学の進歩により各癌腫において様々な遺伝子異常が見つかっています。日本人のがん死の第一位である肺がんにおいても、代表的なものとして上皮成長因子受容体（EGFR）遺伝子変異や EML4-ALK 融合遺伝子があり、これらの遺伝子変異を見出すことは重要です。

通常、これらの遺伝子変異は手術や検査で得られた腫瘍組織を用いて解析されますが、通常一回しか解析できません。それは体の中にある組織なので繰り返し採取することが難しいからです。

今回私達は、血液中に漏れ出している遺伝子と腫瘍組織からとられた遺伝子をそれぞれ解析することにより、血液中に漏れ出している遺伝子で腫瘍組織からとられた遺伝子の代わりにつかうことができないかどうか、検討したいと考えています。

3)研究の方法

当院呼吸器内科又は呼吸器外科を受診され、2014年4月より2014年12月までに同意書にて試料提供の同意された研究試料（血漿、血球、腫瘍組織）を用いて、それぞれから血漿中の遺伝子、末梢血血球中の遺伝子、肺がん腫瘍組織の遺伝子を抽出し、409 遺伝子の変異の解析を行います。また、日常臨床で得られた EGFR 遺伝子変異、EML4-ALK 融合遺伝子が、血漿中の遺伝子解析で検出できるかどうか検討します。解析する際には連結不能匿名化を行い、個人情報に配慮します。

4)倫理的配慮等

当院呼吸器内科及び呼吸器外科にて委員会の承認の得られている同意書（「遺伝子変異検査、遺伝子発現検査等の分子解析による胸部腫瘍の発生、増殖・浸潤、転移機構の基礎および臨床研究 承認番号 285」にてゲノム解析を含む研究への利用に関するインフォームドコンセントのもと、2014年4月より2014年12月までに提供された検体を用います。

5)研究機関

名古屋大学医学部附属病院

6)問い合わせ先

名古屋大学医学部呼吸器内科

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65

電話番号：052-744-2153

FAX：052-744-2176

苦情の受付先

総務課

電話番号：052-744-1901

研究対象となる事を希望されない方は、上記問い合わせ先までご連絡下さい。